大学名	大阪教育大学 連合教職大学院
表　題	教職大学院と附属学校園によるNew Normalへのサポート

第59号テーマ
「ニューノーマル時代の大学」

＜取組内容＞

新型コロナウィルスの感染拡大に対し，学校現場ではオンデマンドによる授業配信，リモートによる行事の実施，ICTを活用した教材作成などを行っているが，その範囲は校内のみに限定されていることが多い。

そこで，本取組では，教職大学院実務家教員が管理職を務める附属学校や，本学教職大学院の在学生・修了生から，授業動画，ICTを活用した教材，実践事例等を集約し，連合教職大学院のHPにて，広く社会に配信することを試みた。

令和2年12月現在，附属小学校・中学校からは，各学年ごとに2～4教科の授業動画の他，リモートによる生徒総会，海外の生徒への学校紹介などが，在学生・修了生からは，オンライン学習支援の実践記録（高校社会），スケッチ動画と動画の作成方法（中学校理科），ICTを活用した授業見学についての実践報告などが寄せられている。これらは教職大学院HPで配信しており，今年度だけでなく，次年度以降も継続して，附属学校園・在学生・修了生に働きかけ，動画・教材等を追加していく予定である。

【授業動画の掲載ページ】

大阪教育大学の各附属学校で，今年度のコロナ禍において，実際にオンデマンドで使用した授業動画について，ページ内に埋め込むことで簡単に視聴できるようにしています。

また，動画の下には，作成者のコメント欄を設け，授業でのねらいや，作成の際に工夫したこと，実際に動画配信した成果等の他，各先生の子どもたちへの思いを掲載しています。

【スケッチ動画の作成（在学生）】

【在学生のコメント】

普段は授業の中で観察しながら描くスケッチですが，リモート授業でも子どもたちがみんなと一緒に描いているような気持ちになれるよう，動画を作成しました。子どもたちに分かりやすく伝えるためのポイントを洗い出すことが自身の振り返りにもつながりました。また今回は，他校の先生方の参考になればと，動画作成のための動画も作成しています。

＜本取組の特色・期待できる成果＞

授業動画等を配信するだけでなく，教材の作成の仕方や，ICT活用のポイント，動画作成時の注意点などの解説を加えていることが，本取組の大きな特色と言える。これにより，学校教員が本HPを見ることで，自身の授業に取り入れ，授業動画の作成等の参考・きっかけになることをねらいとしている。

HPの開設以外にも，学部卒院生（ストレートマスター）から希望者を募り，附属学校園の児童生徒に対して学習支援・心理支援を行う計画をしていた。院生への経済支援をしつつ，子どもたちの支援もできる，両得をめざした取組となる。しかし，新型コロナウイルス感染拡大に伴い，院生の附属学校園への入構が難しくなったことから，動画編集やICT活用のレポート作成等の依頼に切り替え，院生への経済的な支援を行っている。

今回の取組の目的は，新型コロナウイルスの感染拡大状況における子どもたちの「学習の保障」だけではない。今後はGIGAスクール構想等，新しい授業形態，教育・学校実習を検討する必要性が出てくる可能性があり，その準備としても位置付けることができると考えている。

連合教職大学院ＨＰ ・ New Normal － 新しい学校生活への支援 － https://osaka-kyoiku.ac.jp/academic/graduate school/rengokyoshoku/result/new normal/